

## [021] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/25756>

---

出版情報：九州大学東洋史論集. 21, 1993-01-25. 九州大学文学部東洋史研究会  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

『九大東洋史論集』二十一号を作成しました。本号は川勝の他、九州大学大学院博士課程在籍の宮崎洋一氏、野田徹氏の論考に加え、同研究生本田精一氏の論考と四篇で構成しました。

川勝論文は、南朝梁陳唐宋と朝鮮新羅、日本の奈良平安初までの東アジアの放生儀礼を比較文化的に扱ったものです。宮崎氏論文は、清乾隆期の山西省を中心として行政の変動を追跡し、地域開発との関連を探索しようとしたものです。野田氏論文は明代宦官の制度内容を詳細に検討したもので、それが官僚横構としていかなる特質を有かすかについて従来論考に一步を進めようとする意欲です。宮崎・野田氏ともなお、残る問題課題が多いとしても、研究の出発点として大いに評価されるものと思われまふ。本田氏の論考は、五代宋代の庶民教育の教科書とされる「兔園策」について、種々の考証を重ねること、その具体的内容を窺おうとしたものです。なお、本田氏は実業界にて半生を務められた後、学生時代での東洋史への想を六十余才にて再出發させようとした篤実なる老学生で、生涯教育の好個な典型ともいふべき存在であります。本誌はもとより学術誌ではありますが、かかる向学心旺盛な社会人学徒にも門戸を開くことも必要なことと思われまふ。読者諸氏の御海容を願うものであります。

(川勝)

## 九州大学東洋史論集

### 第二十一号

平成四年一月二十日印刷

平成四年一月二十五日発行

編集兼 九州大学文学部

発行者 東洋史研究会

福岡市東区箱崎

六十九—一

代表者 川勝賢亮

印刷所 瞬報社写真印刷(株)

福岡市中央区天神五

丁目四—十六

電話(〇五)七三—三三二